（教育研究業績書）

|  |
| --- |
| 　令和○年○月○日氏名　　○○　○○　　　印 |
| 教育上の能力に関する事項 |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| １　教育方法の実践例 |  | 助教以上の先生は記入してください。 |
| ２　作成した教科書・教材 |  | 助教以上の先生は記入してください。 |
| ３　教育上の能力に関する大学等の評価 |  | 助教以上の先生は記入してください。 |
| ４　その他 |  |  |
| 研究業績等に関する事項 |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称 | 概　要 |
| （著書） |  |  |  |  |
| （学術論文等） |  |  |  | 「紀要」掲載の論文も含めてください。 |
| （その他） |  |  |  |  |

**【記載上の注意】**

１．本調書は、**全ての教員について作成する**こと。

２．本調書は、**担当授業科目に関連する**教育上の能力に関する事項、研究業績等に関する事項について作成すること。なお、**過去10年間の事項のみを記載する（本学就任前を含む）**こと。

３．**「教育上の能力に関する事項」欄**は、**申請年度における担当授業科目がある教員のみ記載する**こと。なお、以下の点に留意すること。

　・「１　教育方法の実践例」

大学・短期大学・大学院などの高等教育機関において授業科目を担当している教員が、

学生の理解を図るため、工夫を凝らしたわかりやすい授業を実施しているか（以下の（例）を参照）を記載すること。

（例）

・ＩＣＴ等を活用した授業方法

・学生の授業外における学習効果促進のための取り組み

・授業内容のＷＥＢ上での公開　など

　・「２　作成した教科書・教材」

教員が、学生の理解を図るために作成し、また、授業や教職指導などにおいて活用している教科書や教材を記載すること。なお、本欄に記載した事項が、「研究業績等に関する事項」において重複して記載される場合は、同一の内容を当該箇所においても記載すること。

・「３　教育上の能力に関する大学等の評価」

　　 教員が、学生の理解を図るために行っている教育上の取り組み（授業や教職指導などを通じた取り組み）に対する大学からの評価（以下の（例）を参照）を記載すること。

（例）

・採用決定の際などにおける評価内容

・各大学における自己点検・自己評価での評価結果

・教員相互による評価結果

・学生による授業評価結果　など

　　・「４　その他」

　　　　 教員が、学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記「１　教育方法の実践例」～「３　教育上の能力に関する大学等の評価」に該当しないもの（以下の（例）を参照）を記載すること。

　　　（例）

　　　　・大学教育改善に関する団体等での活動の概要

　　　　・教育実績に関する表彰　など

　　・「１　教育方法の実践例」～「４　その他」全体を通じて

　　　・**「年月日」欄**は、「令和○○年度」のように**年号で記載する**こと。

・**「概要」欄**は、**事項ごと**に、内容がわかるように**200字程度（150字～250字）で記載する**こと。

４．**「研究業績等に関する事項」欄**は、**著書、学術論文等、その他について記載する**こと。なお、以下の点に留意すること。

　 ・**「著書、学術論文等の名称」欄**は、省略することなく、**正式な名称を記載する**こと。

　 ・**「発行又は発表の年月」欄**は、「令和○○年○月」のように**年号で記載する**こと。

　 ・**「概要」欄**は、**事項ごと**に、形式的な内容（簡単な小見出しなど）ではなく、**具体的な内容がわかるように200字程度（150字～250字）で記載する**こと。**なお、「共著」の場合には、本人の担当部分の概要及び掲載頁（pp.○○～○○）を明記し、本人を含めた著者全員の氏名をもれなく記載する**こと。

　 ・**「（その他）」欄**は、担当授業科目に関連する**紀要、報告書や教育関係雑誌など、活字として発表された研究業績を記載する**こと。

５．「氏名」欄の印は、本人の自筆署名の場合は省略できる。

６．**原本を提出する**こと**（写しは提出できない）**。